（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センター　ぽこぽこ

公表日　令和　８年　１１月　２日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		設置基準は満たしています。人数が多い時は活動場所を分ける等工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		設置基準は満たしています。年齢が低い児に対しては支援も必要である為人員配置に配慮しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	トイレに段差があったり、手洗い場が高いが足台を置いたり人的配慮で危険がないように対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		活動内容に合わせて適切な環境を準備するように心がけています。ニーズに応じ、改善をしていますし、清潔にしています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6		一人で過ごす空間や部屋も準備しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		記録に残しスタッフ間で情報共有できるように努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		事業所評価を踏まえ、業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		自己評価を実施しています。事業所ホームページで評価内容を公表しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現在は実施していません。業務改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		園内研修や外部研修に参加しています。 経験年数や業務によって研修内容を変更する等配慮しています。感染症についての研修も行っています。研修に出れない職員にも情報共有している。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	6		支援プログラムはホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		定期的にアセスメントをしたり、日々の活動を記録にし、それをもとに計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援会議やケア会議を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画書に基づき、活動プログラムを立案しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の活動や関わりから変化の著しい子どもたちの様子を常にアセスメントしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		必要な項目を組み込んだ児童発達支援計画書を作成しています。ガイドラインについて職員間で共有しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員みんなで意見を出し合い活動の計画を立てています。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		一週間通して同じ活動にしており繰り返しや経験の中でできることが増えるようにしています。個々の発達段階、課題、ニーズに合わせた活動内容を検討しています。また、季節に合わせた行事を取り入れつつ様々な活動を提供できるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		アセスメントを基に、発達課題に応じて支援計画を作成しています。小集団活動、個別活動を組み合わせながら、個々に応じて必要な支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	業務の都合上（送迎など）難しいことがありますが、可能な限り努めています。より良い支援が提供できるよう、情報共有に努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6		業務の都合上（送迎など）難しいことがありますが、可能な限り努めています。より良い支援が提供できるよう、情報共有に努めています。 各々気付いたことは情報交換しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		各職員で気づいた子どもの姿を記録し、支援の振り返りを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に１回以上モニタリングを実施したり、必要に応じてケア会議で支援の検討を行い、支援の見直しや確認をしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要な情報は適宜電話相談や訪問時、会議等で共有し、連携を取っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		相談員からの報告も多いです。併行利用児について保育園や幼稚園への発信を増やし、さらに連携できるようにしていきます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者の方の要望に応じて小学校見学を実施しています。また情報提供書を作成し、スムーズに移行できるように努めています。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	2	4	連絡体制は整っています。ケース会議に参加し、他機関と連携を取るように努めています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		外部研修の参加をしています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6		参加しています。	
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	利用児全員が並行通園であり、ぽこぽことして行っていません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		面談時に共有するようにしています。連絡ノートも活用しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		平日の開催であり参加者の都合がつけにくいことも考えられます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っています。支援プログラムについて丁寧に説明をしていきます。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6		意思表示ができる児童に対しては聞き取りを行い、保護者からは事前に聞き取りを行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		児童発達支援計画書について保護者に説明の時間をとってもらい伝えています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		連絡ノートを活用したり、送迎時に児童の様子を共有しながら面談や相談を受けるようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		保護者交流会を開催しました。きょうだい同士の交流はありません。今後施設開放等検討していきます。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		意見箱を設置しています。また要望や相談に対しては早急に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		定期的におたよりを発行し、活動の様子や行事予定等を伝えています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の管理については十分に配慮しています。職員間でも取扱いについて確認しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		連絡ノートやおたより等で必要な情報はお伝えしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		ぽこぽこのペアレントトレーニングには利用児の保護者以外の方の参加もあります。プール開放や体育館等地域の方も利用できるようにしています。今後も地域とつながりを持てるようにします。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアルを策定し、職員間で周知するようにしています。保護者の方への周知に向けては今後検討していきます。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		毎月避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用開始前の聞き取り時に確認をしています。 必要に応じて個別の対応マニュアルを作成し、緊急時に対応できるようにしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		対象となる児童はいません。アレルギーのある方に対しては事前に指示書を提出してもらい食事を別メニューで提供しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		必要な研修や訓練を実施しています。今後も継続して行っていきます。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6		緊急時の連絡体制を確認するとともに安全計画もおたより等で発信していきます。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットや事故報告書は全職員が確認したりケア会議で事例検討し、支援の共有に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		園内研修（虐待研修を含む）として実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		支援計画に記載（総合的な支援方針）し、計画書説明の際にお伝えしてます。	